

日文学座
公演

原作／三遊亭円朝
脚本／大西信行
演出／鶴山仁

怪談

牡丹燈籠

幽霊よりも

怖ろしいのは人の欲!

人の心の光と影、

表と裏をゆらゆらと

映し出す牡丹燈籠。

出演

早坂直家、石川武、大原康裕、沢田冬樹、相川春樹、越塚学、
富沢亜古、つかもと景子、山崎美貴、高柳絢子、大野香織、柴田美波

【日時】11月10日(水) 18:30開演 【会場】新日本造機ホール

呉市民劇場 事務局

呉市本通 2-5-1 グローバル本通 103 号

TEL 0823-22-4516

開局時間 12:00~18:00 (土・日・祝日は休み)

入会のお申し込みは

入会金(1,000円)+3ヶ月分会費を添えて
呉市民劇場事務局までお申し込みください。

■会費(月額) 一般 2,500円 学生 1,300円
高校生以下 1,000円



高柳 絢子



富沢 亜古



沢田 冬樹



早坂 直家



大野 香織



つかもと 景子



相川 春樹



石川 武



柴田 美波



山崎 美貴



越塚 学



大原 康裕

『怪談 牡丹燈籠』を例会にお迎えいただけること、劇団にとりまして大きな喜びと励みになります。杉村春子・北村和夫のコンビで上演を重ねた財産演目を、文学座の培ってきた台詞術を受け継ぎながら、今の時代を生きる演劇人としてどう表現するか、皆さまが共に取り組んでくださるからこそできる挑戦です。この舞台は皆さまよくご存じの落語をモトにした芝居。目を奪う視覚的表現も取り入れています。何より語りを大切にしたい芝居です。人の世の光と影、表と裏に引き裂かれる愚かしくも愛おしい人間の姿を描き出す台詞劇をお楽しみください。



怪談 牡丹燈籠

原作／三遊亭円朝 脚本／大西信行 演出／鶴山 仁

美術=乗峯雅寛 照明=古宮俊昭 音響=秦 大介 衣裳=前田文字 殺陣・所作指導=澤村國矢 舞台監督=寺田 修
演出補=水野玲子 制作=友谷達之 チラシデザイン=チャーハン・ラモン 宣伝写真=鶴田照夫

闇夜に響く下駄の音。
カラン…コローン…。

足のないのが相場の幽霊を下駄の音で登場させた天才三遊亭円朝の怪談噺を大西信行が文学座のために劇化。杉村春子・北村和夫の名コンビにより上演を重ねた人気作。その後、新橋耐子・北村和夫の配役でも再演されてきました。この度は、演出・配役を一新して上演です。

他演劇鑑賞会の感想から

「役者さんの迫力ある演技と、舞台のセットや照明が美しく、怪しく、特にホタルが舞つところは迫力がありました。」

「感情や欲望に操られてしまう登場人物は、いかにも正直者で、私利私欲で人を殺めてしまつても、何故か憎めない。共通しているのは、皆誰かを愛している故であるからか。」

「富沢亜古さんのお峰と乳母のお米の早替わりには本当に驚いた。まるつきり別人である。また他にも4人の役者さんが二役、三役と演じ、文学座の並々ならぬ底力を感じた。」

「男も女も、色恋も、物欲も、生きるのも死ぬのも、善も悪も、この時代ははつきりしていて、ドフラマチックで人間臭さでいっぱいだ。」